

7. 事後調査報告書の提出時期について

事業計画の変更に伴い、事後調査全体工程表については、表 7.1 及び表 7.2 に示すとおり工事工程と事後調査報告書の提出時期を変更する。

表 7.1 事後調査工程表【変更後】

和暦年度（西暦年度）		H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019) R元	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5(2023)	R6 (2024)	R15 (2033)	
工事工程及び調査内容																					
行為・要因	一般部（起点側）	[調査実施期間]																			
	立体交差部	[調査実施期間]																			
	一般部（終点側）	[調査実施期間]																			
大気汚染	大気質、気象	[調査実施期間]																			
	交通量、走行速度	[調査実施期間]																			
	気象条件、バックグラウンド濃度等	[調査実施期間]																			
	環境保全のための措置	[調査実施期間]																			
騒音	建設作業騒音	[調査実施期間]																			
	道路交通騒音	[調査実施期間]																			
	交通量、走行速度	[調査実施期間]																			
	環境保全のための措置	[調査実施期間]																			
振動	建設作業振動	[調査実施期間]																			
	道路交通振動	[調査実施期間]																			
	交通量、走行速度	[調査実施期間]																			
	環境保全のための措置	[調査実施期間]																			
景観	地域景観特性、眺望の変化	[調査実施期間]																			
	環境保全のための措置	[調査実施期間]																			
廃棄物	建設廃棄物及び発生土	[調査実施期間]																			
	環境保全のための措置	[調査実施期間]																			
その他	水質汚濁	[調査実施期間]																			
	水文環境	[調査実施期間]																			
	植物・動物	[調査実施期間]																			
	史跡・文化財	[調査実施期間]																			
	自然とのふれあい活動の場	[調査実施期間]																			
	その他	[調査実施期間]																			
事後調査報告書の提出期間																					

注) 1. 工事の施工中 → 工事の完了後（、は調査始期を示す）
 工事の施工中における騒音及び振動調査の実施時点（予測した一般部、立体交差部の工種ごとに主要な建設機械の稼働台数が最大となる時点）

注) 2. 4月～6月、 7月～9月、 10月～12月、 1月～3月

